

三大都市圏の最高価格地点の地価動向

地区	基準地・所在地	地価の動向	価格形成要因等
東京都港区 (価格順位 (住宅地) 全国 1 位)	港-10 [住宅地] 溜池山王駅 420m	6,430,000 円/㎡ 15.6% (6.1%)	大使館が多く見られる優良住宅地域に存し、マンション用地の希少性は高く、需要も非常に強いことから、地価は高い上昇を見せている。
大阪府大阪市天王寺区 (価格順位 (住宅地) 大阪圏 1 位)	天王寺-2 [住宅地] 桃谷駅 750m	786,000 円/㎡ 8.4% (7.4%)	区画整然とした閑静な住宅地域に存し、底堅い需要を受け安定した価格水準で取引がされていることから、地価の上昇が継続している。
愛知県名古屋市中区 (価格順位 (住宅地) 名古屋圏 1 位)	中-1 [住宅地] 丸の内駅 350m	1,850,000 円/㎡ 5.7% (7.4%)	中心部のマンション用地需要は堅調であるが、地価や建築費の上昇に伴い、開発にやや落ち着きが見られることから、地価の上昇は継続しているものの、上昇幅は縮小した。
東京都中央区銀座地区 (価格順位 (商業地) 全国 1 位)	中央 5-13 [商業地] 銀座一丁目駅 近接	46,900,000 円/㎡ 11.4% (5.0%)	希少性が極めて高い中央通りに面し、富裕層やインバウンドによる高額品の消費が旺盛であることを背景に、店舗の収益性が増加傾向にあり、ブランド店舗の出店需要も非常に強いことから、地価は高い上昇を見せている。
大阪府大阪市北区梅田地区 (価格順位 (商業地) 大阪圏 1 位)	北 5-2 [商業地] 大阪駅近接	24,500,000 円/㎡ 2.5% (3.9%)	うめきた 2 期地区の再開発が進展しており、利便性や賑わい向上への期待感はあるが、オフィス等の需要に落ち着きが見られることや、建築費の上昇に伴う投資採算性の観点から、高額物件に対する新規開発には慎重姿勢が見られ、地価の上昇は継続しているものの、上昇幅は縮小した。
愛知県名古屋市中村区名駅地区 (価格順位 (商業地) 名古屋圏 1 位)	中村 5-1 [商業地] 名古屋駅近接	19,700,000 円/㎡ 0.5% (2.1%)	希少性のある名駅地区のオフィス市況は堅調であるものの、建築費上昇に伴う投資採算性の観点から、高額物件に対する新規開発には慎重姿勢が見られ、地価の上昇は継続しているものの、上昇幅は縮小した。